



Nov. 2025
Vol. 280

東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階 <https://www.jfa-tanzo.jp>
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470 e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

一般社団法人日本鍛造協会
編集発行 広報委員会

令和8年 賀詞交歓会のご案内

一般社団法人日本鍛造協会の令和8年賀詞交歓会を下記により開催いたしますので、会員の皆様のご参加をお待ちしております。(会員の皆様には別途ご案内しております。)

■ 日 時：令和8年1月22日(木) 15:00～16:30

■ 場 所：KKRホテル東京 10階「瑞宝の間」

東京都千代田区大手町1-4-1 TEL: 03-3287-2921

■ 会 費：2名様まで 12,000円 3名様以上お一人様追加毎に5,000円 (JFA会員限定)

*参加人員に制限はありませんので多数の方のご参加をお待ちいたしております。

■ 申込み：事前に事務局宛参加申込みが必要です。

■ 問合先：日本鍛造協会 TEL: 03-5643-5321 / e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

会場アクセス

地下鉄：東西線「竹橋駅」3b出口直結 徒歩3分、千代田線「大手町駅」C2出口 徒歩7分、

J R : 東京駅：徒歩20分

タクシーをご利用の際は、東京駅より約5～10分

東京駅(丸の内南口)より「KKRホテル東京」または「旧気象庁向い」とお伝えください。



おめでとうございます

【東京都認定職業訓練功労者】

去る11月13日(木)、京王プラザホテルにおいて、令和7年度東京都認定職業訓練功労者に感謝状の贈呈が行われ、当協会推薦により下記の方々が表彰の栄に浴されました。

■ 東京都産業労働局長感謝状

石川 孝司 氏

名古屋大学 名誉教授

株式会社フォージネット 副社長

氏は平成22年より14年間に亘り、鍛工品製造業科「鍛造マネージャー育成塾コース」の創設および指導員講師として延べ274名の受講生を指導し、鍛造技術及び周辺技術の発展に必要な技術者を育成した講義用の教材の編纂・改訂にも積極的に携わるなど、日本の鍛造業界の将来を担う人材育成に大きく貢献。

北村 憲彦 氏

名古屋工業大学 名誉教授

氏は平成22年より14年間に亘り、鍛工品製造業科「鍛造マネージャー育成塾コース」指導員講師として延べ274名の受講生を指導し、鍛造技術及び周辺技術の発展に合わせた講義用の教材の編纂・改訂にも積極的に携わるなど、日本の鍛造業界の将来を担う人材育成に大きく貢献。



人材育成事業報告

◆令和7年度鍛造マネージャー育成塾コース 「科目8 鍛造及びCAE実習」実施

去る10月23日(木)～24日(金)に
(株)ヤマナカゴーキン 東京工場
(千葉県佐倉市)において、2
日間実施しました。

1日目は、工場見学のほか、鍛
造におけるシミュレーションの概
要やデジタル適用技術について座
学講義を実施しました。



2日目は、科目7(9月実施)のグループ演習で作成した荒型設計図面の解析する実習を行いました。解析ソフトで得られた結果を基に討議し、最終的な図面を決定しました。今後はその形状をもとに鍛造品を製作し、検証する実習を予定しています。

◆令和7年度鍛工品製造業実践型人材養成コース 「教科7 自由鍛造」実施

去る10月2日(木)～3日(金)に
日本製鋼所M&E(株)(北海道室
蘭市)において、2日間実施しま
した。

1日目は、座学の他、鍛刀所と
工場を見学しました。鍛刀所では、
刀匠直々に説明を受け、実際に
製造途中の刀を握らせていただ



き、工場では巨大なスケールの製品を自由鍛造にて製造している現場を実際に目にする貴重な機会となりました。

2日目は、鍛錬成形比などの計算方法の他、座学中心の講義を実施しました。グループワークでは他の受講生の考え方をすることで理解を深めました。

◆品質確保、トラブルの未然防止、企業経営に寄与する熱処理講座

去る10月20日(月)～21日(火)に
大阪市立青少年センター
KOKOPLAZAにおいて、熱処理
セミナーを実施しました。(受講
者数：17名)

本セミナーでは、材料・鍛造・



製品機能の観点から熱処理技術を整理し、鋼種の基礎、熱処理の変態特性、工具鋼の熱処理などを中心に、品質確保に必要な考え方をわかりやすく解説しました。さらに、シャフトの調質・高周波焼入れ、ミッションギヤの浸炭焼入れ、金型の焼入れ、異材混入対応をテーマとしたグループワークを実施し、現場での工程設定や品質管理を具体的に検討するなど理解を深めました。

参加者からは「基礎と応用を関連づけて理解できた」「グループワークで実践的な視点が得られた」「異材混入時の対応を学べて良かった」などの声が寄せられ、熱処理技術の理解促進と品質向上に向けた有意義な研修となりました。

令和7年度 生産性向上支援訓練 第4回開催報告

独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構の委託事業であるオンライン生産性向上支援訓練の第4回を下記のとおり開催し、13名が受講しました。

第4回

『ものづくりの仕事のしくみと生産性向上』

【開催日】 10月6日(月) 10:00～17:00

【講師】 (株)日本マネジメント・リサーチ
講師 藤尾 翔太氏

【内 容】

1. ものづくりの仕事の流れ
 - (1) 生産活動の基本とものづくりの流れ
 - (2) 顧客満足とQCD・4Mの関係性
 - (3) ものづくりの基本(5S含む)と生産性向上
 - (4) 現場担当者の役割と重要性
2. ものづくり現場の現状と課題
 - (1) ものづくり現場の現状
 - (2) 現場で発生する問題の種類
 - (3) 問題解決の課題
3. ものづくりに関する業務改善
 - (1) 問題発見と解決の基本
 - (2) 現場改善の着眼点(3ム・ECRS)
 - (3) 現場改善の進め方(RGPDCA)
 - (4) ケース事例から学ぶ現場改善のポイント

【参加者の感想】

- ・セミナーの最初にもものづくりの基礎知識とポイントを講義してくれたのが良かった。基礎について理解が出来ていなくても、職歴が長くなるに伴って理解しているものと認識され、自身も質問をすることが難しくなっていた。そのため、もう一度そのことに触れることができ助かった。また、OJT形式での新人教育をしていると仕事のやり方、成果に重きを置いてしまい、基礎の部分は聞いただけ、見ただけになり本当の意味での仕事の理解をできずに「作業」をしているだけになっているように感じている。今回のセミナーでの内容は、今後の新人教育にも活用させていただきたいと考えている。
- ・仕事を行うにあたり、工具を探したり取りに行くなどの無駄な動きをなくす。ムラ、ムリをなくすよう手順、基本、情報によって効率を上げられるようにしていきたい。保全という仕事柄、安全快適に仕事を行える環境を整える必要性を学び、順序立てて目標を定め、自ら考え、自主的に行動していこうと思った。とても分かりやすく丁寧に説明があったこと、それに伴い、他社とのコミュニケーションを図れる演習で意見交換し、情報共有できたことが良かった。機会があればまた受講したい。

委員会開催報告

第38回安全衛生環境委員会

開催日：10月16日(木)14:00～

会 場：アサヒフォージ株式会社
土岐工場見学



Information

●「産業交流展2025」開催！

産業交流展は、優れた技術や製品を持つ個性豊かな中小企業・スタートアップが多数出展し、販路拡大、企業間連携の実現や情報収集・交換などのビジネスチャンスをご提供します。また、各界の著名人によるセミナーや体験型の特別企画を実施予定です。詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

◇日時・入場料

- ・リアル展：11月26日(水)～28日(金)10時～17時
東京ビッグサイト西展示棟1・2ホール、アトリウムにて開催
- ・オンライン展：11月12日(水)～5日(金)まで
公式ウェブサイト上にて開催
- ・入場料：無料(要登録)

◇HPアドレス：<https://www.sangyo-koryuten.tokyo/>

◇お問い合わせ：

産業交流展2025運営事務局
(株式会社ニューズベース内)
TEL：03-4226-3918
E-mail：sangyo-koryuten@newsbase.co.jp

訃 報

謹んでお悔やみ申しあげます

エヌイー株式会社(中日本鍛造工業会)
代表取締役社長 中村 宗明氏(享年63歳)

10月15日にご逝去されました。

MANYO

ビレットシャー 30TON～1300TON

フォージグロール FR120～FR960

プレス 50TON～3000TON

アブセッター 200TON～2300TON



Tel 06-6458-0481